

光と緑の風通信

発行/2015年9月11日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)

新入生の皆様へ

看護学部長
看護学研究科長 真壁 玲子



ご入学おめでとうございます。入学されてから約半年経過しましたが、学生生活はいかがでしょう？

さて、皆さんが入学された看護学部と看護学研究科に関わる最新情報をこのニュースレターを通し、ご紹介します。まず、看護学部についてです。この3月に卒業した皆さんの先輩(14期生)は、保健師、助産師、看護師の3つの国家試験に全員合格というすばらしい結果を残しました。先輩を誇りに思い、大いに学んでください。ただし、看護学部生として学ぶことは、国家試験に合格するためだけではありません。これらの資格取得は、看護職の仕事をする上で必要です。看護職の仕事は、様々な健康課題に対応し質の高い看護提供が求められ、したがって継続した学びが必須です。看護学部への入学は、看護職としての継続した学びの第一歩と考えてください。

次に、看護学研究科についてです。専門看護師コースでは、がん看護、精神看護、小児看護分野で学生募集をします。研究コースでは、がん看護学、精神看護学、小児看護学、母性看護学、地域看護学に加えて老年看護学と家族看護学を併設しました。県内看護職の要望にあわせてカリキュラムを改訂しました。関心をおもちの方、どうぞお尋ねください。

このような看護学部と看護学研究科に入学された皆さん、本学で専門的な知識や技術を習得し、看護に関する教育と研究を探究しリーダーとしての役割を果たせるよう、それぞれの道を創り、充実した学生生活となりますように期待します。

(まかべ れいこ)

学生・教員ともに頑張りましょう！

教務委員長 畠山 とも子



平成27年度も早半ばになりました。皆さんいかがお過ごしですか。「看護の大学は思っていたより大変！」と感じている方も多いのではないのでしょうか。私は学生のとき看護が面白いと思えず、辞めたいと思いました。親に「国家試験に合格したら他の道に進んでも良い」と説得され仕方なく続けました。学生の後半、アルバイトで行った病院の看護師が自由にのびのび、プライドを持って働いている姿に打たれました。「看護って面白いんだ！」と驚きました。卒業後結婚、育児中も一度も辞めることはなく続けてきたのは仕事が面白いからです。

福島県で唯一の看護大学で学ぶ皆さんは優秀な学生ですが、実習が始まると心が折れそうになってしまう人もいます。私達教員は素直で素朴で優秀な学生さんをちゃんと卒業させる義務を負っています。皆さんは毎年教員の力を借りずに自ら国家試験に臨み、昨年は全員合格することができました。教務委員長としてできる限りのサポートをしていきたいと思っています。

(はたけやま ともこ)

渡邊 彩実

私は将来、患者さんの心の拠り所となる看護師になりたいと思っています。大学では看護師のあるべき姿を学び、どれだけやりがいのある仕事か日々実感しています。自分の理想の看護師となるよう、勉学に励みます。

赤間 沙彩

私は将来、救急看護師として働きたいと思っています。そのために今でも、多様な知識と技術を身につけ、臨機応変に対応できるように判断力を養い、また、行動力を発揮できるように頑張りたいです。

六沢 瑞葵

私は将来、訪問看護師として働きたいと考えています。そのため、大学では幅広い知識と技術を身につけて、在宅医療の発展に関わっていきたくて、出来るように頑張りたいと思います。

荒井 莉奈

私は看護学部で、この福島県、放射線による出産や子育てへの不安を抱く女性とその家族を支える助産師になることを目指しています。自分と向き合い、常に向上心を忘れず、自分のことを吸収していきたいです。

有賀 奈緒

私は慣れない街での一人暮らしで受診した夜間救急での看護師さんの対応にとても安心した経験があります。その看護師さんの様に患者さんの不安を和らげられる様な知識と技術を持った看護師を目指しています。

有坂 愛

私は将来看護師として福島県内で働き、心と身体の両面から人々の健康のために尽力したいと考えています。また、患者さんとその家族の方々が笑顔になれるような看護をしたいと思っています。

石井 果歩

私はこの大学に入学し、目標としていた看護師になるために日々勉強できて幸せです。医療現場を身近に感じる事の出来る環境でしっかりと学んで、県内の医療に貢献できる看護師になりたいです。

石澤加南恵

私はこの大学生活で、自分の中にしっかりと看護の定義を築き、将来医療従事者として貢献したいと考えています。そのため、広い視野を持って考え、行動すること大切にして日々学習に取り組みしていきたいです。

石本 沙織

県内の医療に貢献する医療従事者を目指して、本学で知識と技術を身につけていこうと思っています。何事にも支助することなく、充実した4年間を過ごせるよう、日々努力していきます。

末永 京子

私は看護師として活躍したいと思っています。特に看護師の減少が著しい地域で働きたいと考えており、そのために大学では看護の知識だけでなく、地域に密着した看護のあり方についても実習を通して学びたいと思います。

末永 真唯

会津高校出身です。私は、これからこの大学で多くのことを学んでいきたいと思っています。将来立派な看護師になれるように、日々勉学に励んで頑張りたいと思っています。

菅原 夏海

宮城県栗原市出身、古川学園高校卒の菅原夏海です。今後は大学生生活を通して自立をする事、確かな知識と技術を持った看護師になる事を目標に日々精進していきたいと思っています。

須澤 美南

私はこの福島県立医科大学でしか学べないことをたくさん学びたいです。また、部活で看護師として必要なことを身に付けられると思うので、学生生活1つ1つのことを一生懸命頑張れる人になりたいです。

鈴木 春花

自分が目標とする看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。また、部活などを通して人としても大きく成長し、有意義な4年間を過ごしていきたいです。

鈴木 真由

医大の高い水準の看護技術を学んで、医療現場の最前線で活躍できる看護師になりたいと思っています。一部活動にも積極的に取り組んでメリハリのある大学生生活を送りたいです。

鈴木 風

こんにちは！私は学で専門的な知識、技術、精神を養い、看護学部1つ1つの学びを深めていきたいと思っています。加えて、1日1日の学びを大切な糧にして、将来に活かせるような努力を怠りません。

須田紗保里

4年間あっという間に過ぎていくと思うので、1日1日在大切に勉強、部活、遊びなどができないことに全力で取り組んでいます。感謝の気持ちを忘れず、毎日少しずつ成長できたいなと思っています。

須藤 帆香

白河高校出身、看護1の須藤です。陸上部のマネージャーをやっています。また、赤十字奉仕団の小児科訪問グループにも所属しています。これから勉強、部活以外にも色々な事に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

伊東 茜

私は保健師になりたいと思っています。地域の方が毎日元気にのびのびと生活できるように正しい病気や怪我が予防法をお伝えするなどの方法で、地域の方が健康を守るためのお手伝いをしたいと思っています。

伊東 茉夕里

私は将来、小児科の看護師になるという夢があります。子供が好きなので小児医療に関わりたくて考えました。夢を叶えるために大学でしっかりと看護師として働くための知識と技術を身につけたいです。

伊藤 優那

大学にもだんだん慣れてきました。硬式テニス部とZACCというダンスサークルに入りました。これからの4年間が充実したものになれば良いです。

岩城 由佳

わたしは将来、地元福島で看護師として働きたいと思っています。子供が好きなので小児医療に関わりたくて考えました。夢を叶えるために大学でしっかりと看護師として働くための知識と技術を身につけたいです。

岩田明日香

私は災害医療にも従事したいという夢があります。入りたいと思いが強く、学事でのできる福島医大に入り、また、部活やバイトと両立し、十分に学びを深め、将来地元で活躍できる看護師を目指しています。

岩間 玲奈

私は大学生活で看護についての基本的知識、人とのコミュニケーションについて学びたい。看護職は多種多様な人と関わる機会が多いと思うので、そこで自信をもつ接する力ができるといいと思います。

薄井 優香

私は座学は勿論のこと、看護学を学ぶ上で重要な実習の時間を無駄にせず、自主的な学習に励みます。将来は患者の心を理解できる助産師になります。これからは一期一会の出会いを大切に生きていきたいと思っています。

遠藤 美沙

私は将来看護師として福島で働きたいと思っています。まだ知らないことがたくさんあると思うので、大学で学ぶ4年間で様々な知識を身につけて、自分のなりたい看護師像を見つけていきたいと思っています。

遠藤 瑞歩

最近ショートカットにして、実習で髪型に困っている遠藤です。医大での毎日は楽しくて、充実しています。今後、活発に活動していきたいと思っています。

高木 菜穂

この大学はどれも1年間が仲がいいです。入学して何もわからないけど、先陣の方々に優しく接して下さる方々。これから4年間の大学を学ばせてくれる経験を積み、キャリアアップをしたいと思います。

高坂 眞子

私は看護師に必要な技術力、判断力を見付け、福島県に貢献できるような看護師になりたいと思っています。卒業してからも福島県に残り、こちらの大学の附属病院で働き、いろんな経験を積みみたいと思っています。

高塩 愛美

私は生まれ育った福島で看護師として働き、福島県の医療に貢献したいと思っています。専門知識や技術をしっかりと身につけて、誰からも信頼されることが出来る存在になれるように努力していきます。

高橋麻衣子

若手県一関市出身の高橋麻衣子です。私は、様々な人と関わり、相手のことを考えて行動出来るような看護師になりたいと考え、日々勉学に励んでいきたいと思っています。

田邊 佳那

医師とは違う、患者さんにとって一番身近な立場になりたくて、看護師を目指しました。福島医大の勉学に動かしやすい環境の中で、正しい知識や技術を身に付け、将来は認定看護師から専門看護師を目指したいです。

田村 彩花

私は将来、海外で看護師として働きたいと考えています。決して簡単に叶う夢ではありませんが、大学では看護の勉強はもちろん英語の勉強にも力を入れ、夢の実現を目指し努力を積み重ねていきたいと思います。

柘植 脩成

今年の看護男子、人集の1人です。柘木から来ました。まだ慣れない環境に戸惑っています。看護職を目指すと入学して大学では技術習得はもちろん、色々な事に挑戦して自分を磨いていきたいと思っています。

辻 菜摘

入学して3ヶ月が経ち大学生活にも少しずつ慣れてきました。部活やサークルも決まらずに日々を送っています。勉強は大変ですが部活と勉強を両立できるように頑張りたいと思っています。

坪井 聖愛

病気を経験してからずっと憧れていたこの大学で学ぶことをとても嬉しく思います。この大学でしか学べないことをたくさん吸収し、患者さんの拠り所となるような自分なりの看護師を目指していきたいです。

遠藤 由佳

私がこの大学で学びたいことは、人と気持ち良くコミュニケーションをとる技術です。将来、患者さんの気持ちをよく理解して、少しでも笑顔になつてもらえるような会話ができる看護師になりたいです。

大内 龍生

福島県立福島成蹊高等学校出身の大内龍生です。私は、看護師を目指して勉学に励み、よりよい人間関係を築いていきたいです。これから、まろしくお祈りします。

大竹 祐太

大学では自分が関心を持った様々なことを自修し探求を自主的に受け理解を深め、部活を通して体力の向上に努めます。福島の雄と、また大学生として責任に基づいた行動をし、誇れるような医療職になりたい。

小汲志緒利

看護学部に入り、講義を受けていくなかで看護の奥深さの一端を垣間見、これから、長い年月をかけて先人達が築いてきた看護学、技術を学んでいくことができることに心を踊らせておられます。

奥村 彩佳

私は将来保健師として福島で働きたいという夢があります。4年間ですべての知識を身につけて、県内医療に携われるように頑張りたいと思っています。

長田 知佳

私は、東日本大震災が起きたことで災害医療に貢献したいと思ふようになりました。この大学に入学した毎日、医療や看護学を学ぶことに喜びを感じ、部活やサークルに参加することで充実した大学生活を送っています。

加藤 修人

医大での大学生活に慣れ、勉強、部活ともに充実した毎日を送っています。この大学での4年間は看護について積極的に学ぶとともに、看護学部に限らず、多くの人のつながりを大切にしていきたいです。

加藤 愛美

入学前は神奈川県で介護職として働いていました。特に精神、終末期の看護に興味があります。アクティブに、光が丘での学びはもうなんですが、常に視野を広く持つて様々な挑戦していきたいと思っています。

加藤 万葉

新しいことがたくさん戸惑いがありますが、高校とは違う大学での学びを楽しみたい、部活などを通して大学生活を充実したものにしたいです。様々な経験を積んで、有意義な4年間としたいと思います。

富樫 美和

私は将来助産師になりたいという夢があつて今があります。まだ未熟ですが、これから必死になつて夢を叶えたいです。そして、大学生になつても続けている陸上も必死にやっています。

中澤奈津希

私の将来の夢は、看護師として福島県で働くことです。私が生まれ育った福島県の復興に貢献したいです。少しでも多くの患者の支えになれるような看護師になりたいです。

中村 香純

私は将来、看護師として医療に貢献したいと思っています。仲間と共に、県立医科大学で過ごす日々を自身の糧にして、多くの事を学んでいきたいです。

一町 優花

私は将来小児科の看護師になりたいと思っています。正しい知識や技術を身に付け、患者さんやそのご家族から信頼される看護師になれるよう、この4年間頑張りたいと思っています。

二瓶 久子

看護学部1年の二瓶です。茨城県水戸市出身です。中高と吹奏楽部でユーフォニウムを吹いていましたが、大学では女子サッカー部に所属しています。新たなことを始め、とても充実した生活を送っています。

野口樹莉亜

知識、技術だけでなく、部活動等を通して人間のにも成長できる4年間としたいと思います。将来看護師として活躍できるように今出来ることに全力で取り組みたいです。

野間ななみ

大学に入学し志望校ですが、私は新しい環境にとても刺激を受けています。日々の中で常に感じることは、自分未熟さです。これから様々な経験、人間関係を通して、自律した医療人になりたいです。

橋本実乃里

私は、医療に携わりたいという気持ちでこの大学に入りました。将来、医療人として活躍できるように、何事も積極的に楽しんでいきたいです。

羽田 育未

大学生になって、初めての一人暮らしなど大変なことはたくさんありますが、福島県でしか学べないことをたくさん学んで、立派な看護師になれるように頑張ります。

栢本 莉奈

私はこの4年間で豊富な知識と技術を学び、実践力を身につけて誰からも信頼される看護師になりたいと考えています。心こもったケアを通して患者さんに寄り添い、安心できる看護を提供したいと思っています。

神田 眞希

私が看護師を目指そうと思いつく前は、祖母が末期癌にかかっていたこと、看護師である母親の影響です。将来は、患者さんだけでなく、その家族の思いに配慮したケアを行える看護師を目指したいです。

岸本 直子

大学に入学でき、嬉しく思います。将来は、持ち前の明るさを生かして、看護がより重視される社会を担ってほしいです。福島の雄と、また大学生として責任に基づいた行動をし、誇れるような医療職になりたい。

狐塚 結希

大学生活は想像以上に忙しですが、様々なことに挑戦でき、とても楽しく、充実しています。これから大学で多くのことを学び、患者さんや周りの人に信頼されるよう、良い医療従事者となるように努力したいと思います。

桑名 美紗

医大に入学して2ヶ月が経ちました。将来の医療を担う者として、今の自分が必要なかたんだん見えてきます。今後、より深く多くのことを学び、自分も最も貢献できる医療の道に進んでいきたいと思っています。

河野 史歩

私は人の心に寄り添える看護師になりたいです。震災の爪痕がまだ残っているこの福島県で、人の心を支えられる看護師として働きたい、一人前の看護師になれる基礎をついていきたいと思います。

五ノ井優花

大学は学習面で大変不安がある中で入学でしたが、毎日充実した生活を送っています。福島県立医科大学では、幅広い医療知識を身に付け、福島県内の地域医療に貢献できるようにしたいです。頑張ります。

齋藤 由佳

私はまだ具体的な将来像は見えていませんが、知識と技術そして思いやりのある看護職者として、地元である福島に貢献していきたいと考えています。そのため、この4年間で大切に過ごしていきたいです。

松崎佑利子

私はマニュアルに定められたことなく患者さんのニーズに応じた臨機応変に対応でき、笑顔や安心を手えらるような看護師になりたいです。そのため、幅広い分野の知識や技術を身に付けたいと思っています。

松田 佳穂

高校出身です。これまで大学生になれなかったですが、私は個性豊かな人が多く刺激的な毎日を送っています。私は将来地元で在宅看護に携わる看護師になりたいと思っています。初心を忘れず4年間学びたいです。

馬目 和枝

部活、勉強、サークル、人暮らし、と忙しい日々を過ごして、今やっとなつてきました。大学では部活と勉強を頑張る、多くの知識を学び、人間的にも成長し、理想の看護師像に近づけるよう、精進していきます。

村上 奈央

入学してから3ヶ月が経ち、現在はまだ充実した大学生活を送っていません。これから1日1日を大切に過ごし、様々な経験を積み、目標とする看護師に少しでも近づけるように頑張りたいと思っています。

森 美月

自分の理想の看護師に近づけるように毎日の講義を集中して頑張ります。一部活では、陸上部のマネージャーとして、少しでも役に立てるよう頑張ります。

門馬 未空

入学しては3ヶ月が経とうとしています。大学生活にも慣れ、毎日日本に充実した日々を送ってあります。1日1日を大切に、日々の発見を大切に、これからも頑張りたいと思っています。

山口 夕芽

初めまして、福島県黒川郡出身の山口夕芽です。今は準備校の看護学部で学んでいます。大学では主にカン患者の看護について学び、将来は緩和ケアに従事したいと考えています。これからよろしくお祈りします。

好川茉莉香

私は将来助産師になり、福島県の少子化改善に貢献したいと考え、東北医科大学に入学しました。県内の妊婦さんが安心して出産、育児できるように放射線の知識も持った助産師になれるよう頑張りたいです。

渡邊 絢子

最近では大学生活にも慣れてきて運動部にも入り、毎日楽しく過ごしています。受験の時と思ってこの大学で学ばないという気持ちを日々忘れず、4年間頑張りたいと思っています。

齋藤 竜

たくさんのもつともつと学びたいと思っています。一部活動にも力をいれていきたいです！

佐藤 歩美

私は将来、患者さんの心に寄り添い、信頼されるような看護師になりたいと思っています。様々な経験をを通して、看護師に必要な知識や技術を身につけて、自分も目指す看護師像に近づけるよう頑張りたいと思っています。

佐藤 桐香

私はボランティア活動に積極的に参加する大学生活を送りたい、高校時代から考えていました。ボランティア活動を通して地域のあらゆる年齢層の方々と関わりをもち、多くの経験を積みみたいと思っています。

佐藤 駿

大学で学ぶことは、将来働く土の基礎となるので、勉強に力を入れています。そのためには講義を欠席せず、体調管理もきちんとしていきたいと思っています。

佐藤 仁美

大学に入学してから約3ヶ月が過ぎました。入学当初の不安もなくなり、勉強、部活ともに充実した毎日を送っています。これから、多くの人々との出会いを大切に、日々励んでいきたいと思います。

佐藤 道香

入学式から2ヶ月が経ち、大学生活にも慣れてきました。大学では看護師としての専門的な知識や技術を学び、精神身体面の両面から大きく成長したいです。患者さんへ贈られる笑顔の素顔の看護師を目指します。

佐野 千夏

学校の生活にも慣れ充実した毎日を送っています。私は将来、養護教諭として福島の子供たちが健康で過ごせる環境をつくりたいです。そのため、これから医大で多くのことを学んでいきたいと思います。

白石 桃子

将来は自分が生まれ育った福島県で看護師として働き、地域に貢献したいです。同じ志を持つ仲間と共に勉強出来ることの喜びを噛みしめ、学業に励みたいと思っています。

渡邊 季葉

こんにちは！看護学部1年の渡邊季葉です。生まれ育ちは白河市で、白河高校出身です。部活は弓道部と管弦楽部に入部しています。ようへんお祈りします。

渡辺 美紀

私は大学で看護の知識を身につけたい中で、将来こんな看護師になりたいのを見つけたと思っています。また、多くの人の関わりをもち、色々な価値観や考え方に触れて、自分の世界を広げたいです。

伊勢野明美

大学院に入学して、3か月経ちました。勤務しながらなので大変さはありますが、充実した日々を送らせて頂いています。今後の夢は、無事に修士課程修業できた後、何年後かに留学をしたいと考えています。

菅野 範子

2ヶ月がたち、とても貴重で大切な時間を満喫しております。同期生のみならず先輩らも先生方から多くを吸収させていただければと思っております。

西東 智恵

臨床17年目を迎え、専門分野での更なるキャリアアップを目的に、今回大学院で学ぶことを決めました。仕事子育てを学業を両立しながら充実した学びになるようハングリー精神で何事も取組んでいきたいと思います。

佐藤 弥生

わたしは、がんを罹患し治療を経験したサイバーである。治療後、看護師として復職した。その経験を活かし、現在、がんと闘っている患者さんの支えになりたい。現在、大学院の進学、がん看護の志望した患者を経験してきたからこそのかゆい痒い看護に必要とすることを、一つ一つ深く考えてきた。現在、その希望に近づくため、努力している途中である。

四家 智恵

行動する力が大切で、立つたままでは変わらない。自ら動くことが変わるかもしれない。今、新たなな方向を切った自分を応援してくれるすべての人に感謝しています。与えられた2年間を大切にしていきたいです。

四ツ家亜希

皆、はじめまして。この度、私はメンタル精神専門看護師を目指して入学しました。入学前は2年時間があると感じていましたが、今は年がかりの感じ、日々です。貴重な時間大切に、学生生活を送りたいと思っています。

全国助産師 教育協議会総会 出席のため 福岡に 行って来ました!



母性看護学・助産学部門 教授
太田 操

全国助産師教育協議会は昨年、創立50周年を迎えました。今年の6月、第51回(公益社団法人としては第6回)総会が福岡大学で開催されました。助産師教育の課題を踏まえ、

- ①助産師教育のグランドデザイン
- ②教員の教育力
- ③自律した助産人材の育成
- ④卒業教育との連携

に関する4つのビジョンが提言されました。

なぜ今、このようなビジョンが重要なのかというと、日本の助産師教育は、2年間で学ぶ大学院、1年間で学ぶ専攻科・大学別科・専修学校、大学4年間で選択す



る等、様々な課程があるからです。助産師になるために、こんなに沢山のコースがあるの?とビックリですが、修得の機会が多い一方で、課題も山積なのです。例えば、本学は、大学の看護基礎教育の中に助産学課程を選択科目として置いており4年間で看護師と保健師に加え助産師の国家試験受験資格も取得出来る分、過密なカリキュラムになってしまいます。

その中で学生は意欲的に取り組み、教員は助産師の責任と魅力とを存分に伝えるべく頑張っています。ですが、そろそろ本学でも助産師教育について見直す時期に来ているようです。

ちなみに今までの総会は東京開催が多かったのですが、今回初めて福岡での開催となりました。総会の翌日は、なんと福岡ドームでの福岡開催だったらしい)があり、ホテルの予約に苦労しました。:(
(おおた みさお)

学会・研究会報告

NEW FACE よろしくお願 いたします

療養支援看護学部門
齋藤 史子

この3月に本学大学院を修了し、本年度より、療養支援看護学部門(老人)に着任いたしました。私は、これまで東京、南会津郡、双葉郡、会津若松と病院看護師として勤務してきましたが、今回ご縁があり本学に参りました。

私には高校生から小学生まで3人の子供がおり、母としても日々奮闘しています。しかし、今年の運動会の親子競技は「勝ちたいからお姉ちゃん」と走る息子にフラれてしまいました。学生の皆さんを見てみると我が子のように、ついつい口を出し、手を貸したくなりますがやり過ぎてフラれないようにしたいと思います。

教育・研究者としてまだまだ未熟ですが、学生の皆さんと共に学んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。(さいとう ふみこ)

NEW FACE 新任挨拶

療養支援看護学部門
菅野 富美子

本年度より療養支援看護学部門(老人看護学)の助手として着任いたしました。

約20年間医科大学附属病院の外科、集中治療部、小児科等で病棟看護師

として勤務してきました。また、看護師養成所で看護教育に携わらせていただく機会もあり、看護教育の重要性や奥深さを学ぶことができました。

老人看護学領域では5月から病棟実習が始まり緊張した日々を過ごしています。先生方のご指導と学生の皆さんとの関わりから、毎日新しい発見があり楽しく新鮮な気持ちで勤めることが出来ています。

この恵まれた環境で看護にかかわる仕事を継続できることに感謝しつつ努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。(かんの ふみこ)

NEW FACE はじめまして

母性看護学・助産学部門
枝村 浩江



4月から母性・助産学部門に着任しました枝村浩江と申します。助産師です。今までは、臨床の現場で、妊娠前から産後のお母さんや新生児の看護を中心に働いていました。特に、病気のお子さんを持つお母さんの看護をする機会が多くあり、大学院では、出生前診断をテーマに研究しました。このたび、教員1年生となり、それに伴い福島に転居してきました。教育の職場は初めてで、何かと慣れない点が多く学んでいる真っ只中です。早く、仕事に慣れて少しでも力になれるようにがんばりたいと思っております。よろしくお願いたします。(えだむら ひろえ)

NEW FACE はじめまして

母性看護学・助産学部門
鈴木 妙子



4月より、母性看護学・助産学部門に着任いたしました。3月末までは助産師として病院勤務しており十数年お産中心の生活でした。その間、福島県立医科大学看護学部に入職し、そして、大学院とマイペースながらも継続的に学びを深めてきたつもりです。今回、教育に携わる機会をいただき、臨床から離れた生活に寂しさを感じつつ、先生と呼ばれることに戸惑う日々を過ごしております。

教員1年目でまだまだ未熟な私ですが、部門の先生方のご指導のもと、学生の皆さんと共に学びを深めていければと思っております。どうぞよろしくお願致します。(すずき たえこ)

NEW FACE 新任挨拶

母性看護学・助産学部門
斎藤 喜美



昨年10月から母性看護学・助産学部門に勤務しております。こちらに勤務してすぐに領域別実習が始まりました。緊張し不慣れな私に対して、学生の

入学式

基礎看護学部門
安藤 真美

平成27年4月8日、福島県立医科大学の入学式が執り行われました。当日は、快晴の青空に、あづま山の残雪の白と満開のソメイヨシノのピンクが映える、鮮やかな一枚の風景画のようでした。そのような中、看護学部82名と看護学研究科6名の新入生は、少し緊張しながらも、新しい学生生活への期待を胸に誇らしげな様子で入学式に臨みました。また、ご列席いただいた新入生のご家族が、少し成長した我が子をまぶしそくに見守る姿が印象的でした。
(あんど まゆみ)



NEW FACE ■ 新任教員ごあいさつ ■

皆さんが普通どおりに自然に接してくれたことが、とてもありがたく感じられ心に残っています。その後も教職員の皆様は助けていただきながら、新しい職場に徐々に慣れることができました。

先生方や学生の皆さんとかわる中で、自分の勉強不足を感じます。また、学生の皆さんの可能性の大きさを感じています。今後も自己研鑽し、皆様に教えていただきながら、学生の皆さんによいかわりができるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。(さいとう きみ)

NEW FACE 新任挨拶

基礎看護学部門
山崎 久美子



本年度より附属病院と看護学部との人事交流で基礎看護学部門に着任いたしました。

私は本学部を卒業し、附属病院で5年間勤務しておりました。縁あって母校に戻って仕事をできることを嬉しく思います。

主に1・2年生の授業に関わることも多く、臨床で日々の仕事に追われるとつい忘れてしまふ看護の基本を学生の皆さんと一緒に学びなおすことができ、改めて看護について考えさせられています。

NEW FACE 新任挨拶

地域・在宅看護学部門
岡本 なつみ



4月より地域・在宅看護学部門で助手として勤務させていただきます。私は本学部の10期生で、3月までは県内で保健師として勤務していました。このようなかたちで本学部に戻ることができたことを嬉しく思います。

教員という立場で講義や実習などに関わらせていただくことは、自分が現場で働いていた時のことも振り返ることができ、日々新しい発見があり、とても充実しています。(大きな声では言えませんが、学生時代は講義中に随分睡眠学習もしました)

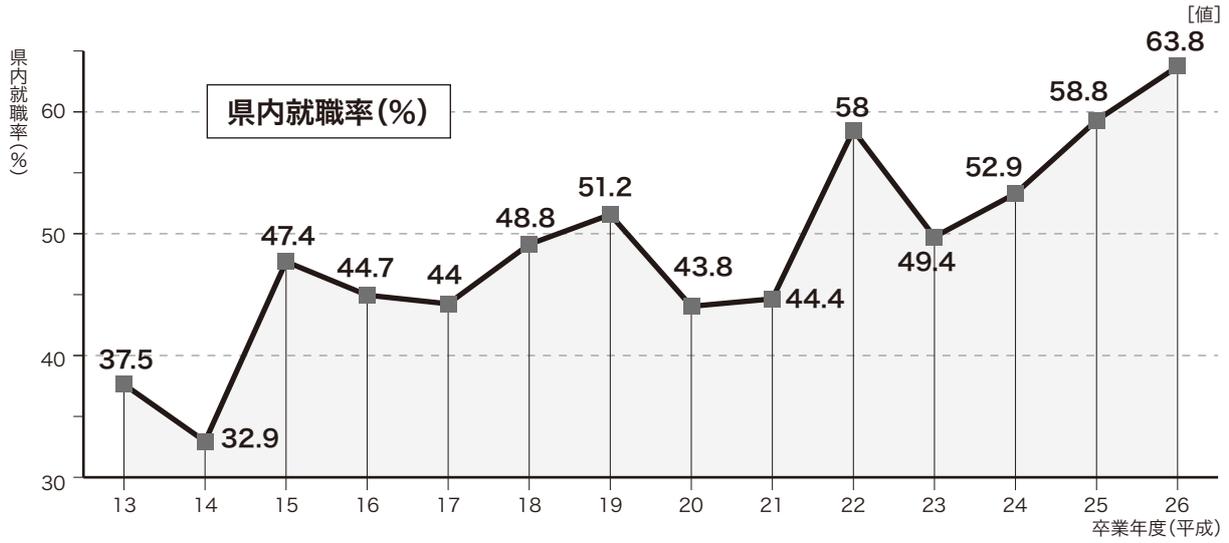
いまだに「先生」と呼ばれることに耳慣れない未熟者ですが、これからも学ぶ姿勢を忘れずみなさんと共に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。(おかもと なつみ)

平成26年度卒業生は、 すべての国家試験に全員合格しました!!



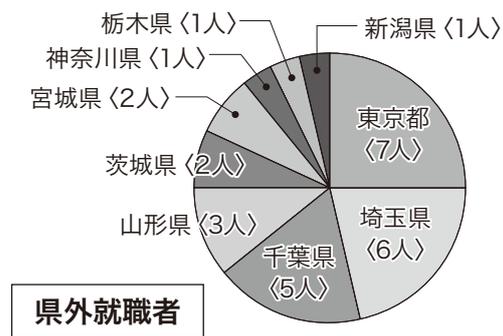
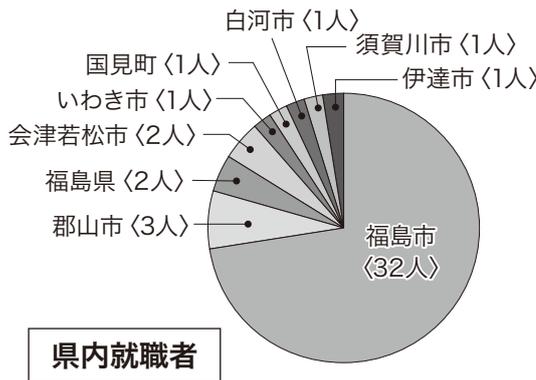
平成26年度卒業生の看護師・保健師・助産師国家試験は、それぞれ平成27年2月22日(日曜日)、2月20日(金曜日)、および2月19日(木曜日)に行われ、3月25日に結果が発表された。極めて喜ばしいことに、卒業生諸君は全ての試験において受験生全員が合格するという快挙を達成してくれた。この事実を誇りに、それぞれの赴任先で鋭意努力してほしいものである。

なお、データを取り始めた平成13年度以来、卒業生の県内定着率が初めて6割を超えたのも、県立を冠する大学として喜ばしいことである。



それぞれの進路を円グラフで示した。卒業生の6割が県内に残ったといっても、附属病院をはじめ、中通り地方への就職が圧倒的に多い。学部として、浜通り・会津地区へも卒業生を送り出したいものである。なお、県外に目を向けると、例年並みに首都圏への就職が多かった。

文責：看護学学生部長・本多たかし



- ◆編集委員
- 本多たかし、大崎 瑞恵、安藤 真美、齋藤 史子、鈴木 妙子、田村 達弥、宮崎 恵美、有賀 優加、岡本なつみ、菅野富美子、齋藤 喜美、鈴木 良香、山崎久美子、鈴木 学爾

最後に、お忙しい中寄稿していただきました皆様に深く感謝申し上げます。
鈴木 学爾

編集後記

この光と緑の風通信第49号が皆様に届く頃には夏が終わり、秋の気配を感じる頃だと思えます。看護学部も後期の授業が始まり、大学に学生の姿が戻ってきます。後期には1年生の「看護の対象となる人々を理解する実習」から4年生の「統合実習」など多くの実習があります。特に1年生は入学してから初めての臨地実習が始まります。

本号の「新入生のひとこと」でも自分の目指す看護職像を記載しています。その一歩が「実習」として始まります。学生は、実習で患者さんや実習施設のスタッフの皆さんと直接関わることで自分の目指す看護師像に向けて成長します。教員も学生が成長できるよう、しっかりとサポートしていきます。その成長を次号ではお届けできると思っています。楽しみにお待ちしております。